

第10回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（千二、千三、千里新田地域）
 開催日時：平成29年7月25日（火）午後2時～ 場所：千里コミュニティセンター 参加者数：59人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
千二	1	千里山東4丁目自治会の方が地域のために有効に利用してほしいと市に寄贈した土地(4丁目50)が、いまだ荒地のまま放置されている。自治会住民も高齢化し、認知症の方も増えつつある。寄贈の経緯も踏まえ、この場所を福祉関係などで利用できるようにされたい。	(市長回答) この土地の一部は実験用の畑として使っている。アスファルトが前面にあるので、はがして畑にすると莫大なお金がかかる。今のところ行政が直接何かをする予定はない。しかし、高齢化も進んでいるので事業者が参入しご提案のような福祉的な使い方をすることは大いにあり得る。
	2	関電不動産のマンション計画に関して、「吹田市開発事業の手続等に関する条例(好いたすまいる条例)」に基づいた手続が6月下旬から開始されたと認識しているが、当条例の高邁な精神と目標設定が開発者からの提案文書にまったく記載されていない。 市として事業者に対して条例の徹底した準用を求められたい。(同意見あり:この構想は現住環境への配慮が全くない。計画総戸数が462戸と大規模であるにも関わらず、建物敷地内には新居住人の避難場所や公園すら考えられておらず、企業利益最優先でやりたい放題の構想としか受け取れない。)	(市長回答) 好いたすまいる条例は手続に関する条例で、強制力はない。ただ、地域の人の話も反映してよりよい事業計画になるように公園の面積について調節をさせていただいている。公園は広いほうがいい。 吹田市の人口は今後も増加し、開発者の意欲は高い。しかし、それを規制する法律はない。個人の権利なので法律に合っていれば開発はできる状況である。
	3	千二地区内では、この先まだ民間のUR後工区計画や月が丘計画の大規模開発事業が相次ぐ。旧千里山団地であった敷地は、その大規模開発を含めると、以前とは比べものにならない程の世帯数(人口)が増えるにもかかわらず、公園となるものは「千里山中央公園」のみである。 市長の考える「良いまちづくり」とはどのようなものか。 また、同敷地における防災面における市の考えを聞きたい。一次避難地となるような場所の確保はどのように考えているのか。	(市長回答) 私の考える「良いまちづくり」とは高質で品格のある街である。具体的な要素として利便性、快適性、環境性、空間、景観そしてそこに住む人が挙げられる。吹田市はこれらを高質なものにしていきたい。既に高質なブランドであるために、開発が多いわけであるが、それがかえって本来のブランドを傷つけることになる。今、非常に悩ましいところである。
	4	当管理組合(エクセレンス千里山)は、「吹田市千里山月が丘プロジェクト計画」の通知を受けたが、この開発計画が居住者の日常生活と住環境にどのような影響を及ぼすのか下記の質問に答えられたい。 ①工事に係る協定書の締結 市条例では、事業者近隣との「協定」の締結までは、義務付けられていない。 通知案内によれば、開発規模は1万6,000㎡と大規模なもので、安全確保、環境保全等に大きな影響を及ぼすことは明らかで、住環境と安全を担保するためにも、住民の総意として「工事協定書」の締結は絶対条件と考えるが、成約に向けて行政指導されたい。 ②隣接道路の安全性及び通行経路の安全確保について 1 工事に際して資材輸送等に利用される道路は生活道路でもあるが、この規模であれば、相当数の車両通行が予測される。車両の通行制限をせずに耐久性、安全性は確保できるのか。 2 通行経路の安全確保体制については、通学児童や高齢者も多く危険なため、厳しく指導されたい。 ③解体工事に関するアスベストの使用の確認について 既存建物の解体が9月に開始されるようであるが、相当年数の建築物なので、アスベストの使用について危惧する意見がある。厳正に検証されたい。	(市長回答) これまで余り見向きもされなかったところにも開発の圧力がかってきており、放置するとスプロール化(都市が無秩序に拡大していく現象)した街になる。 今、土地区画整理事業を真剣に議論している。道路や公園が整備でき魅力あふれる街になる。ただし、公共事業というのは時間(15年間の予定)がかかり、莫大なお金と慎重な配慮が必要ということをご理解いただきたい。 続いて、工事中のことであるが、切り盛りなどをするので、当然音や振動も出るし、トラックも走り回ると思う。それは、15年間続くわけではないが一定期間は我慢していただくことになる。それを最小限に抑えるのが、環境部の仕事である。開発区域は1万6,000㎡であるが、市が検討している事業区域は23万㎡である。それほど大きな地域の土地区画整理事業に取り組もうとしている。絶対に必要な事業ということで、私や担当部で一致を働こうとしている。今後、議会で説明をして、市民の皆さんの意見をいただきたいと思う。
	5		(住民意見) 関電不動産のマンションの開発の問題について、すまいる条例があるにもかかわらず、事業主も設計者も全く知らないという状況を市長は、どうお考えか。 (市長回答) 会社の品格、高質性に訴えているところである。高質性を保つために行政はさまざまな調整をしている。また、皆さんの反対意見はそのときの調整の大いなる武器になると思っている。

第10回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（千二、千三、千里新田地域）
 開催日時：平成29年7月25日（火）午後2時～ 場所：千里コミュニティセンター 参加者数：59人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
	6		<p>(住民意見) 関電不動産のマンション問題で、千里山地域の環境に調和するものができるよう指導されたい。好いたすまいる条例に強制力はないが、行政としてどういう街をつくるか、会社にどう指導していくのか。</p> <p>(住民意見) マンション建設に関して住民と市長と会社が三位一体になって解決してほしい。千三小の生徒が多く、一中也生徒数が増えている。マンションが建つとさらに増える。そのことも含め考えて欲しい。また、関電不動産、市長が説明会に出席して話を聞かされたい。</p> <p>(市長回答) 非常に大きな開発である。具体的にどうなったらいいか。関電不動産が土地を買ったわけであるが、そこで収益を上げなければならない。アイデアを教えていただきたい。</p>
	7		<p>(住民意見) 行政は公共の福祉を目的に行動すべきである。マンションの開発に伴って地域住民は緑が欲しいとか、住みやすい街にしてほしいといったことを要求している。株式会社は公共の福祉のことを考えない。また、コミュニティバスについて何年前にきぼう号というバスが走っていた。これは福祉目的であり営利目的ではない。吹田市は株式会社ではない。どちらの立場で問題を考えているのか、そこをはっきりして欲しい。</p> <p>(市長回答) 公共の意味は非常に大きい。市民の福祉でいえば、市民も法人の方も市民であり、一定のルールの下で両方の権利を守る必要がある。そのルールは法や条例であり、さらによくするために都市計画部が開発調整に相当時間をかける。行政がどちら側に立つかであるが、当然市民側に立つ。大小関わらず事業者とさまざまな調整をしている。我々は市民の代表として精いっぱい頑張っているの信頼されたい。</p>
	8		<p>(住民意見) 一定の規模の開発の場合は協定を結ぶことを義務付けている自治体もある。説明会も含めて吹田市では条例で定めてできないか。</p> <p>(市長回答) 吹田市環境まちづくり影響評価条例という非常に厳しい条例がある。今回ご心配されている粉塵や騒音のほか、できあがってからのことも全て条例の項目に入っている。また、内部では厳しいシステムがあるので是非、信頼していただきたい。</p>
	9		<p>(住民意見) 隣の豊中市に比べ吹田市のほうが開発業者に甘いという噂をよく聞くが本当か。市長は厳しくやっていると言うが、どうも巷ではそうではないと考えている。</p> <p>(市長回答) 吹田市はその逆で、日本でこれ以上厳しくすることはできないくらいである。ごみ箱一個の配置場所も細かく指導する。各市それぞれ強みはあるが吹田、豊中、箕面は高質性に関して強く圧力はかけている。</p>
	10		<p>(住民意見) 千里新田小学校校区は14年ほど前に校区変更があった。一番多いときで1,200人ほどいたが、現在800人ほどである。生徒がどんどん減ってきて衰退するのではないかと危惧している。校区変更する前に戻して欲しい。</p> <p>(市長回答) 校区について地域、中学校、コミュニティなどさまざまなつながりがある。ただし、ここで注意しなければならないのは、子どもの教育環境として何が一番ベストかということである。千里新田では開発が続いており、子どもの数もふえる。教育委員会は10年先まで予想しているが読み切れないところがある。教育の問題として時間をかけて扱いたいと思う。</p>

第10回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（千二、千三、千里新田地域）
 開催日時：平成29年7月25日（火）午後2時～ 場所：千里コミュニティセンター 参加者数：59人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
	11		<p>(住民意見) 以前、千里新田小学校の生徒を桃山台に移すということを行った。しかし、子どもの人数ありきで、そのほかのことは考慮に入られていなかった。市全体の話もあるが、いびつなことが行われたままになっている。修正すべきだと思う。</p> <p>(市長回答) 子どもの人数だけ考えたというのは当然で、それで地域が分断されるのは結果的に仕方がない。それが子ども中心の考えである。地域は小学校区が基本ではない。狭いところも、広いところもある。小学校区の変更で地域力が変わるとは思わない。小学校区、中学校区を対象としたいろいろな施策がある。しかし、単純に線を引いて分けるようなやり方ではずれが生じてきているので考えないといけな。</p>
	12		<p>(住民意見) 特別教室に冷房が入っていない。音楽教育など情緒の教育は非常に大事である。財政的な問題もあるだろうが、教科に差をつけるのはいかがと思う。</p> <p>(市長回答) 優先順位が低く、エアコンがなくてもいいとは思っていない。おっしゃるように財政的な問題があると思う。想像であるが、恐らく、滞在時間の問題ではないか。教育委員会に聞いておく。(※)</p> <p>(※)保健給食室に確認したところ、小・中学校の特別教室においては、児童・生徒だけでなく、専科教員が一日中、指導することがあり、高温で多湿の時期など、教員の健康管理と勤務環境の整備が課題となっている。 教育委員会としては、児童・生徒や教員に快適な学習環境を提供するため、特別教室に空調設備が整備できるよう、引き続き関係部局と協議していく。</p>
	13		<p>(住民意見) 千三地域は坂が多い。特に千里山は交通不便地域に指定されているのに対策が取られていないように思う。ケア21のたのしいバスを参考に地域の要所を結ぶ取組をされたい。</p> <p>(市長回答) 阪急バスに委託をするということも内部では検討している。千里山の場合は何とか小型バスを使ってでも利便性を確保したい。もう少しお待ちいただきたい。</p>
	14		<p>(住民意見) 市民病院の移転があるが、バスで千里山から行けることになるのか。路線の変更はないのか。</p> <p>(市長回答) 阪急吹田まで行き、そこから市民病院行きのバスに乗っていただくことになる。一回乗り換えるだけなので、ご理解いただきたい。</p>
	15		<p>(住民意見) 自分たちの街は自分たちで守ろうと思う。加入率の問題などがあるが、手をこまねいていても仕方ない。今年の目標はネットワークの構築である。既存だけでなく、新しい方とも連携がとれる形にしたいと思う。我々も頑張るが、行政も声掛けや、相互のソフト面の構築をお手伝いしたい。</p> <p>(市長回答) 自治会そのものの魅力を発信しなければいけないという考えは捨てたほうがいい。阪神大震災以降、個人の中で社会貢献したいというのは一定ある。そういう意味では自治会加入率が減ったとしても、人と人のつながりが希薄になっているとは思えない。この地域は関西大学がある。防災関係で学生とのつながりがあり、地域で一緒になってやっていく中で、市のことを知り、自治会に入るかもしれない。学生を引きずり出して欲しい。</p>